

IDHS 障害を持つアメリカ人のための ACT ワークショップ

障害を持つアメリカ人法 (ADA) 制定 30 周年を記念して、イリノイ州福祉局 (IDHS) では、ADA の問題に関する対話形式のオンラインワークショップを開催いたします。このイベントは、シカゴ市、Equip for Equality、Great Lakes ADA 職業技術支援センター、およびイリノイ州 ADA プロジェクトによる支援を一部受けています。このワークショップは無料で、イリノイ州知事 JB Pritzker 氏をはじめとした複数のスピーカーが参加いたします。このイベントの詳細 (登録方法など) に興味のある方は、[このサイト](#)をご覧ください。

CALL 4 CALM (電話相談)

IDHS は、無料のテキストメッセージによるこころの健康支援ライン「Call4Calm」を引き続き運営します。これは、新型コロナウイルス感染症に関連したストレスに悩むイリノイ州の住民を支援することを目的としています。552020 番に「TALK」(またはスペイン語の場合は「HABLAR」) と入力して SMS を送信すると、コミュニティ精神衛生センターの介護カウンセラーから電話が入ります。

加えて、こちらの SMS 番号では、パンデミック中のその他重大な問題に関して支援とガイダンスを求めることができます。住民は「UNEMPLOYMENT (失業)」、「FOOD (食料)」、「SHELTER (シェルター)」などのキーワードを 552020 番に送信すると、追加の情報を受け取ることができます (メッセージとデータには通信料が適用される場合があります。[利用規約](#)を参照してください)。

夏季若者雇用プログラム

イリノイ州福祉局 (IDHS) ではこの 1 週間で、JB Pritzker 知事、地域指導者、そしてロックフォード、ウォキーガン、アーバナ、イーストセントルイスの各パートナーに協力していただき、IDHS 夏季若者雇用プログラム (C-SYEP) の成功を強調しました。

C-SYEP プログラムでは、2020 年 8 月までに州全体で 2,400 名の若者を雇用し、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが続いている最中においても職業訓練と就職支援を行います。イリノイ州ではこの重要な取り組みを後押しするために、930 万ドルを投じました。

このプログラムについて問い合わせがある方は、職業訓練提供者と就職紹介委託先の連絡先[一覧をこちらから](#)ご確認ください。

IDHS は感染拡大防止に対する自身の役割を州民全員に対して求めます

IDHS は州知事およびイリノイ州全体の姉妹機関に協力していただき、新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止を怠らない必要があるということを州民全員に再度注意喚起いたします。ソーシャルディスタンスの実践、公共の場所や就労中でのフェイスカバー着用、適切な手指衛生の維持、高齢者や基礎疾患のある人への特別な予防策の実施、州知事による[行政命令](#)に記載されている集まりの人数制限など、州知事が発表した公衆衛生に関する要件を今一度確認してください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大阻止における皆さんの尽力に感謝いたします。

大切なお知らせ：児童生徒のいる家庭向け食料支援



今年の初めに、IDHS は「パンデミック緊急支援供与」(P-EBT) プログラムを実施するため、連邦政府の承認を受けました。イリノイ州に住民票を置く家庭で、学期中であれば無料または割引価格で給食を受けている学齢期のお子様を対象に、食料購入を支援するための資金を提供するものです。今年度の学校は終業しましたが、P-EBT の申請期限は 7 月 31 日まで延長されています。対象世帯は、家庭で過ごすことになった本来の登校日 1 日につき、お子様 1 人あたり 5.70 ドルを受け取る資格があります。

補助的栄養支援プログラム (SNAP) を受給中で資格を満たすお子様がいる世帯は、自動的に登録されるため申請の必要はありません。IDHS は、これらの世帯を対象とした P-EBT 給付金を家庭の既存の LINK カードに付加します。

現在 SNAP を受給していないものの、昼食を無料または割引で受ける資格を持つ可能性のあるお子様がいる世帯は、7 月 31 日まで P-EBT 給付金の申請を行うことができます。そのような世帯は、お子様が P-EBT の資格を満たした時点まで遡って P-EBT 給付を受けることができます。詳しくは abe.illinois.gov にアクセスしてください。

SNAP 緊急給付金の支給は 7 月まで延長

連邦政府は、補助的栄養支援プログラム (SNAP) の全受給世帯を対象に、7 月も緊急給付金の支給を継続することを承認しました。この給付金により、対象世帯は、パンデミック中に各世帯規模に応じた最高額の SNAP 資金を受け取ることができます。受給対象世帯からの申請などは必要ありません。受給対象の世帯は、2020 年 7 月 19 日から 2020 年 7 月 30 日までの間に 2020 年 7 月分の SNAP 緊急給付金を受け取ることができます。

SNAP 給付金を申請するには、abe.illinois.gov にアクセスしてください。

国勢調査



イリノイ州の居住者全員の統計が必要です。IDHS 国勢調査事務所の 7 月の報告書によれば、6 月 29 日時点で、イリノイ州は国勢調査の自主回答率が全国 8 位となっています。しかし、まだ全住民にご回答いただけていない状況です。有権者は、[米国国勢調査局 \(USCB\) の回答率ページ](https://usc.gov) にアクセスして、自身の地域の回答率に関する詳細を確認できます。

重ねてご案内しますが、米国国勢調査局は、回答期限を 2020 年 10 月 31 日まで延長します。国勢調査に回答するには、オンラインで [My2020census.gov](https://my2020census.gov) にアクセスするか、1-844-330-2020 までお電話ください。詳細については、987987 番に SMS を送信するか、census.illinois.gov にアクセスしてください。